

検察庁法改正案を廃案に コロナ検査と医療・補償体制の充実を

—安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実行委員会が大きく宣伝—

5月23日、「安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実行委員会」が主催して名古屋市内3箇所での街頭宣伝が統一して行われました。

栄・ラシック前では23名で横断幕を手し、スタンディングと訴えを行いました。弁護士の中谷共同代表が、検察庁法を束ねて含ませる法案をめぐり、「黒川さんが辞めたらなぜ廃案か、全くつじつまが合わない」などと指摘。コロナ対策では、「全く不十分、今の政権では命も暮らしも危ない」などと訴えました。他の参加者も口々に「内閣総辞職させるしかない」「まっとうな政治を取り戻そう」などと声を上げました。

他にJR金山駅北口、そしてJR名古屋駅西では、人出も増える中、国労名古屋地本からも役員が地本宣伝カーで駆けつけ、平和委員会やあいち九条の会の方を中心に7名で感染予防を行いつつ、強く訴えました。

自粛と生活補償を一体で憲法の生きる権利の実践を 軍事費削り、コロナ対策に

憲法施行73年を迎えた5月3日、憲法会議主催の市民のつどいが、コロナ感染対策のため中止となったことを踏まえ、安倍9条改憲NO! あいち市民アクション・安倍内閣の暴走止めよう共同行動実行委員会・愛知憲法会議の3団体で、愛知県内各地に「憲法を守り、活かせ」と宣伝カーを運行しました。

国労名古屋地本はOBを含む3名が終日、名古屋市内を流し宣伝しました。



—憲法施行73年 愛知県内で6台の宣伝カーが運行—

